

# 2023年度決算の概要



学校法人 関東学院

2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の本法人の収支決算は、以下のとおりとなりました。  
「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」は、私立学校法第47条第1項及び私立学校振興助成法第14条の規定に基づき定められた「学校法人会計基準」により作成したものです。

## 2023年度決算の状況と分析

事業活動収支計算書では、収支を経常的（教育活動収支、教育活動外収支）なもの、臨時的（特別収支）なものに区分して把握できるようになっています。2023年度決算をこの事業活動収支ベースで、2022年度の決算と比較すると次のようになります。

■事業活動収入計	2022年度：213億2,800万円	→	2023年度：217億1,900万円（3億9,100万円増）
■事業活動支出計	2022年度：209億6,000万円	→	2023年度：284億3,200万円（74億7,200万円増）
■基本金組入前当年度収支差額	2022年度：3億6,800万円	→	2023年度：△67億1,300万円（△70億8,100万円減）

教育活動収支を2022年度決算と比較すると、収入では、学生生徒等納付金が2億2,900万円増加、寄付金が1,800万円増加、経常費等補助金が2,800万円増加、付随事業収入が3,900万円増加しました。一方で、入学検定料の減少により手数料が5,100万円減少、退職者減による退職金財団交付金収入減により雑収入が8,200万円減少しています。支出では、教員人件費が5,600万円増加していますが、退職者減により退職給与引当金繰入額及び退職金が2億6,600万円減少しているため、人件費全体では3億100万円の減少となっています。教育活動外収支では、受取利息・配当金が1億8,000万円増加しました。

2023年度決算における収支差額は、教育活動収支で250万円の支出超過、教育活動外収支では6億4,600万円の収入超過であったことから、両者の合計である経常収支差額は6億4,300万円の収入超過となり、文部科学省が示す財務分析の視点の「通常B」に区分されます。

財務比率について、日本私立学校振興・共済事業団 令和5年度版「今日の私学財政」より抜粋した全国の医歯系を除く522大学法人の2022年度決算の平均値と本学院の2023年度決算を比較した場合、以下のとおりです。

比率名		本学院			522法人		評価の目安
		2023年度	2022年度	前年度比	全国平均	全国平均比	
人件費比率	人件費	50.8	53.0	△ 2.2	50.9	△ 0.1	低い数値が良い
	経常収入						
教育研究経費比率	教育研究経費	37.4	36.2	1.2	36.1	1.3	高い数値が良い
	経常収入						
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	△ 30.9	1.7	△ 32.6	4.6	△ 35.5	高い数値が良い
	事業活動収入						
純資産構成比率	純資産	83.0	84.3	△ 1.3	88.3	△ 5.3	高い数値が良い
	総負債+純資産						
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額	△ 19.9	△ 25.7	5.8	△ 15.5	△ 4.4	高い数値が良い
	総負債+純資産						
流動比率	流動資産	284.4	260.2	24.2	263.2	21.2	高い数値が良い
	流動負債						
基本金比率	基本金	97.2	97.8	△ 0.6	97.2	0.0	高い数値が良い
	基本金要組入額						

## 学校法人会計の特徴と企業会計との違い

営利を目的として経済活動を行う企業では、利益の最大化を図るためにどれだけ成果をあげたのか（どれだけ純資産を増やしたのか）が重要になります。それに対し非営利組織である学校法人では、持続的な教育研究活動を遂行することを目的として活動するため、組織が存続するための必要条件が維持されているか（期首の純資産額）が重要になり、収支均衡状況が保たれているかを確認することが必要になります。

「資金収支計算書」は、本法人の当該年度の諸活動にかかるすべての収入・支出、資金の動きを総額で明らかにしたもので、これは企業会計における「キャッシュフロー計算書」に相当するものです。損益には関わらない前受金、預り金受入収入などの資金収入や、固定資産取得時の資金支出などを含め、どのような活動で資金が増減したか、収入及び支出の顛末を明らかにする計算書です。

企業会計における「キャッシュフロー計算書」は、当期中の資金の増減を原因別にし、営業活動によるキャッシュフロー、投資活動によるキャッシュフロー、財務活動によるキャッシュフローの3つに区分して表示しますが、学校法人会計における「資金収支計算書」にはこのような区分がありません。それを補うものとして、教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支の3つに区分して計算した「活動区分資金収支計算書」があります。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「事業活動収支計算書」は、本法人の当該年度の事業活動を表す仕組みを担っており、企業会計でいうところの「損益計算書」にあたるものですが、その計算の仕組みに学校法人会計の特徴があります。

企業の「損益計算書」は、企業の経営成績を明らかにするため、当該会計期間におけるすべての収益及び費用について、営業利益に営業外損益を加減して経常利益を計算し、これに特別損益を加減して当期純利益を表示します。

学校法人会計における「事業活動収支計算書」では、収支を経常的なものと臨時的なものに分け、さらに経常的な収支を教育活動と教育外活動に、臨時的な収支は特別収支として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動収入及び支出の状況を把握できるようにしています。

また、学校法人会計の特徴でもある基本金の組入額は、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入前当年度収支差額の後ろに表示され、基本金組入前と基本金組入後の収支状況が読み取りやすくなっています。

「貸借対照表」は当該会計年度末時点（決算日）における資産・負債・正味財産を明らかにし、本法人の財政状態を表すものです。

「貸借対照表」は、企業会計も学校法人会計もほぼ同じ構造ですが、企業会計では資産－負債＝純資産（資本金）となり、学校法人会計では資産－負債＝純資産（基本金＋繰越収支差額）となります。

学校法人会計における「基本金」は、企業会計の「資本金」とは全く異なるものです。「基本金」は学校法人が持続的な教育研究活動を遂行し、学校の機能を維持するための教育研究活動に必要な校地、校舎、機器備品、図書等を継続的に保持するために維持すべき資産（財源）です。基本的に固定資産などの取得金額になります。

このように、学校を運営し教育研究活動を円滑に遂行することを目的とする学校法人では、会計においても企業会計とは異なる特徴があります。

# 2023年度 事業活動収支計算書

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位：円)

授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金、校費、その他の納付金(学会費、学生保険等)が含まれています。

各校の入学検定料、共通テスト実施手数料と休学時登録料、証明手数料等です。

テーマ募金や、研究奨学金、学生の課外活動・教育活動等に対する寄付金です。

人件費や教育研究活動に要する経費等に対し、国や県、市から交付される補助金です。その他、施設型給付費などの補助金も計上されます。

寮費、各種講座受講料、外部から委託を受けた研究費などです。

退職基金財団交付金、施設設備利用料等、上記の科目のいずれにも該当しない収入がここに入ります。

専任教職員や非常勤講師、臨時職員、役員の給与、退職給与引当金繰入額です。

学生・教員の教育研究活動に要した諸経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学金、印刷製本費、賃借料、委託費などがあります。この他、事業活動収支計算書に特有なものとして、減価償却額が含まれています。

総務や人事、経理など法人業務に要した経費や、教職員の福利厚生費、学生募集に係る経費などが含まれています。

有価証券、特定資産、株式、預貯金からの利息、配当金、分配金等です。

有価証券の売却に伴う差益です。

施設設備に対する補助金、寄付金等です。

有価証券の売却や、建物の取壊し等に伴う差損です。

過年度修正額等です。当年度は、小田原キャンパスの譲渡による現物寄付が含まれます。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いたものです。当年度は、支出超過となりました。

当年度は下記の組入れを行いました。  
●第1号基本金  
(新たな施設整備・資産の取得)  
法人 約450万円  
中高 約1490万円  
六浦中高 約7160万円  
六浦小学校 約990万円

当年度は下記の取り崩しを行いました。  
●第1号基本金  
大学 約148億540万円  
小学校 約20万円  
六浦こども園 約500万円  
のびのびのば園 約320万円

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	15,751,885,000	15,882,252,623	△130,367,623
手数料	409,697,000	360,817,660	48,879,340
寄付金	200,918,000	215,005,359	△14,087,359
経常費等補助金	3,158,696,000	3,214,068,401	△55,372,401
付随事業収入	751,815,000	496,623,224	255,191,776
雑収入	694,028,000	708,904,178	△14,876,178
<b>教育活動収入計</b>	<b>20,967,039,000</b>	<b>20,877,671,445</b>	<b>89,367,555</b>
科目	予算	決算	差異
人件費	11,116,001,000	10,983,804,603	132,196,397
教育研究経費	8,735,346,000	8,077,374,010	657,971,990
管理経費	1,958,336,000	1,818,509,966	139,826,034
徴収不能額等	0	482,940	△482,940
<b>教育活動支出計</b>	<b>21,809,683,000</b>	<b>20,880,171,519</b>	<b>929,511,481</b>
<b>教育活動収支差額</b>	<b>△842,644,000</b>	<b>△2,500,074</b>	<b>△840,143,926</b>
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	554,000,000	737,685,357	△183,685,357
その他の教育活動外収入	0	7,838,726	△7,838,726
<b>教育活動外収入計</b>	<b>554,000,000</b>	<b>745,524,083</b>	<b>△191,524,083</b>
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	99,840,000	99,839,096	904
その他の教育活動外支出	0	1,215	△1,215
<b>教育活動外支出計</b>	<b>99,840,000</b>	<b>99,840,311</b>	<b>△311</b>
<b>教育活動外収支差額</b>	<b>454,160,000</b>	<b>645,683,772</b>	<b>△191,523,772</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>△388,484,000</b>	<b>643,183,698</b>	<b>△1,031,667,698</b>
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	0	18,964,260	△18,964,260
その他の特別収入	81,787,000	77,173,049	4,613,951
<b>特別収入計</b>	<b>81,787,000</b>	<b>96,137,309</b>	<b>△14,350,309</b>
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	5,373,000	6,102,496	△729,496
その他の特別支出	7,441,918,000	7,446,748,084	△4,830,084
<b>特別支出計</b>	<b>7,447,291,000</b>	<b>7,452,850,580</b>	<b>△5,559,580</b>
<b>特別収支差額</b>	<b>△7,365,504,000</b>	<b>△7,356,713,271</b>	<b>△8,790,729</b>
[予備費]	(177,745,000)	0	0
基本金組入前当年度収支差額	△7,753,988,000	△6,713,529,573	△1,040,458,427
基本金組入額合計	△289,480,000	△100,913,829	△188,566,171
<b>当年度収支差額</b>	<b>△8,043,468,000</b>	<b>△6,814,443,402</b>	<b>△1,229,024,598</b>
前年度繰越収支差額	△29,640,379,102	△29,640,379,102	0
基本金取崩額	14,249,396,000	14,813,795,394	△564,399,394
翌年度繰越収支差額	△23,434,451,102	△21,641,027,110	△1,793,423,992
(参考)			
事業活動収入計	21,602,826,000	21,719,332,837	△116,506,837
事業活動支出計	29,356,814,000	28,432,862,410	923,951,590

# 2023年度 資金収支計算書

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	15,751,885,000	15,882,252,623	△ 130,367,623
手数料収入	409,697,000	360,817,660	48,879,340
寄付金収入	186,415,000	213,918,043	△ 27,503,043
補助金収入	3,208,179,000	3,275,477,401	△ 67,298,401
資産売却収入	0	7,061,627,496	△ 7,061,627,496
付随事業・収益事業収入	751,815,000	504,123,224	247,691,776
受取利息・配当金収入	554,000,000	737,685,357	△ 183,685,357
雑収入	694,028,000	708,346,896	△ 14,318,896
前受金収入	2,783,434,000	2,620,448,165	162,985,835
その他の収入	1,653,493,043	3,177,246,151	△ 1,523,753,108
資金収入調整勘定	△ 3,254,873,200	△ 3,306,564,839	51,691,639
前年度繰越支払資金	7,394,717,377	7,394,717,377	
<b>収入の部合計</b>	<b>30,132,790,220</b>	<b>38,630,095,554</b>	<b>△ 8,497,305,334</b>

(単位：円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	11,084,347,000	10,956,680,698	127,666,302
教育研究経費支出	6,059,764,000	5,378,134,913	681,629,087
管理経費支出	1,556,987,000	1,499,535,338	57,451,662
借入金等利息支出	99,840,000	99,839,096	904
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	931,406,000	366,801,409	564,604,591
設備関係支出	398,391,000	815,600,939	△ 417,209,939
資産運用支出	3,989,447,347	11,091,290,120	△ 7,101,842,773
その他の支出	1,873,222,942	2,016,950,929	△ 143,727,987
〔予備費〕	(177,745,000)	0	0
資金支出調整勘定	△ 2,409,363,056	△ 2,317,116,774	△ 92,246,282
翌年度繰越支払資金	6,548,747,987	8,722,378,886	△ 2,173,630,899
<b>支出の部合計</b>	<b>30,132,790,220</b>	<b>38,630,095,554</b>	<b>△ 8,497,305,334</b>

施設売却収入及び有価証券売却収入で年間の売却額の合計です。

翌年度入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などの額です。

特定の目的のために積み立てた有価証券等の償還金や貸付金、立替金等、未収入金等を回収したときの収入です。

当年度の収入として計上し、資金は翌年度以降に受け入れるものや、前年度に前受金としてすでに資金を受け入れているものを差し引くことにより、当年度の資金の収入額を明らかにしています。

主な支出内容は、次の通りです。

- ・大学 八景キャンパス12号館 内部改修工事  
室の木キャンパス図書館棟 トイレ・倉庫改修工事
- ・中高 ネットワーク環境整備工事
- ・六浦中高 講堂 特定天井更新工事
- ・小学校 音楽室改修工事
- ・六浦小 グラウンド南側 舗装工事

主な支出内容は、次の通りです。

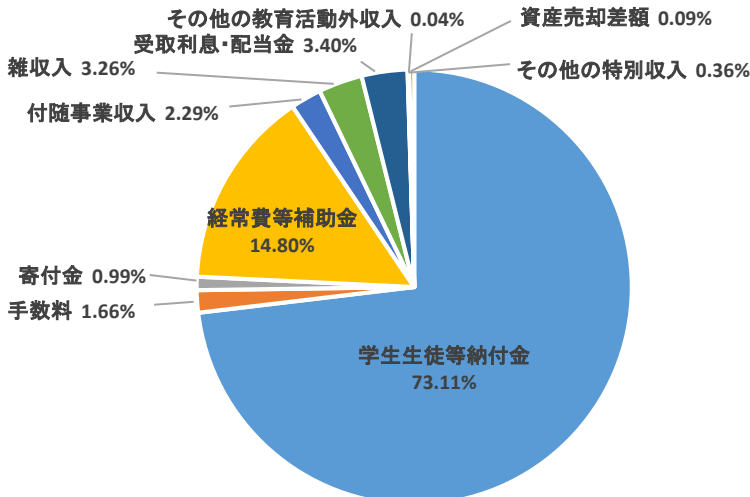
- ・全学 ネットワークシステム
- ・大学 教育研究用コンピュータシステム
- ・中高 教員用PC導入
- ・六浦中高 教員用PC
- ・小学校 教員用PC
- ・六浦小 ローター守衛室小屋
- ・のぼ園 ネットワークカメラ、スイッチングハブ

公社債、投資信託の年間購入額の合計及び退職給与引当特定資産、減価償却引当特定資産等への繰入額です。

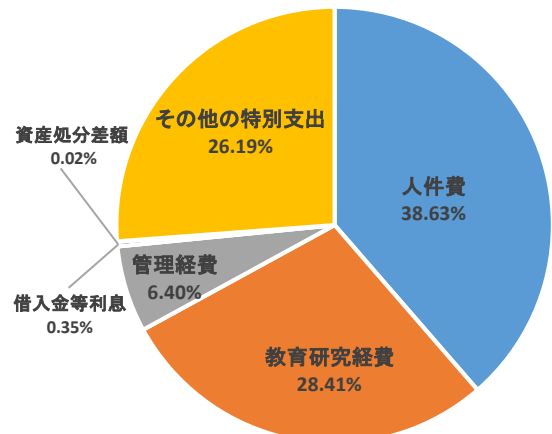
前年度中の活動に係る支出のうち、当年度に支払われた未払金、貸付金、前払金、立替金などの支出です。

当年度の支出として計上し翌年度に支払うものや、前年度に前払金としてすでに計上していたものを差し引くことにより、当年度の資金の支出額を明らかにしています。

## 事業活動収入構成比率



## 事業活動支出構成比率



## 貸借対照表

2024年 3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	93,862,953,121	101,911,832,954	△ 8,048,879,833
有形固定資産	66,208,563,943	75,477,152,512	△ 9,268,588,569
土地	11,185,055,733	15,605,488,531	△ 4,420,432,798
建物	48,449,735,668	32,846,956,424	15,602,779,244
構築物	2,042,703,247	2,161,665,179	△ 118,961,932
教育研究用機器備品	2,102,538,511	1,678,970,782	423,567,729
図書	1,802,090,953	1,887,988,647	△ 85,897,694
その他	626,439,831	21,296,082,949	△ 20,669,643,118
特定資産	16,961,824,961	16,928,553,291	33,271,670
第2号基本金引当特定資産	240,000,000	240,000,000	0
第3号基本金引当特定資産	1,452,670,000	1,452,670,000	0
その他特定資産	15,269,154,961	15,235,883,291	33,271,670
その他の固定資産	10,692,564,217	9,506,127,151	1,186,437,066
有価証券	7,259,248,422	6,202,055,288	1,057,193,134
流動資産	14,960,730,248	13,232,303,232	1,728,427,016
現金預金	8,722,378,886	7,394,717,377	1,327,661,509
未収入金	555,729,699	959,319,043	△ 403,589,344
有価証券	5,404,784,505	4,611,944,061	792,840,444
その他	277,837,158	266,322,751	11,514,407
<b>資産の部合計</b>	<b>108,823,683,369</b>	<b>115,144,136,186</b>	<b>△ 6,320,452,817</b>

有形固定資産の減少は、小田原キャンパスの現物寄付及びその他資産の除却及び減価償却によるものです。

建設仮勘定の減少分は、次の通りです。  
・大学 関内キャンパス新棟建設工事精算

退職給与引当特定資産、奨学基金引当特定資産、学院基金引当特定資産、減価償却引当特定資産です。

大学、中高等の貸与奨学金の貸付残高です。

(単位：円)

負 債 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	13,230,618,589	13,011,891,930	218,726,659
長期未払金	3,654,701,434	3,463,059,680	191,641,754
長期前受金	24,750	63,750	△ 39,000
預り保証金	3,000,000	3,000,000	0
退職給与引当金	9,572,892,405	9,545,768,500	27,123,905
流動負債	5,259,539,978	5,085,189,881	174,350,097
未払金	1,880,700,964	1,531,368,942	349,332,022
前受金	2,620,487,165	2,750,783,200	△ 130,296,035
預り金	758,351,849	803,037,739	△ 44,685,890
<b>負債の部合計</b>	<b>18,490,158,567</b>	<b>18,097,081,811</b>	<b>393,076,756</b>
純 資 産 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	111,974,551,912	126,687,433,477	△ 14,712,881,565
第1号基本金	108,917,881,912	123,630,763,477	△ 14,712,881,565
第2号基本金	240,000,000	240,000,000	0
第3号基本金	1,452,670,000	1,452,670,000	0
第4号基本金	1,364,000,000	1,364,000,000	0
繰越収支差額	△ 21,641,027,110	△ 29,640,379,102	7,999,351,992
翌年度繰越収支差額	△ 21,641,027,110	△ 29,640,379,102	7,999,351,992
<b>純資産の部合計</b>	<b>90,333,524,802</b>	<b>97,047,054,375</b>	<b>△ 6,713,529,573</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>108,823,683,369</b>	<b>115,144,136,186</b>	<b>△ 6,320,452,817</b>

退職給与引当金は、退職金規程による期末要支給額の100%を基に計算して計上しています。

土地、建物、構築物、機器備品及び図書等の固定資産の取得額です。

新たな学校の設置、既設の学校の規模の拡大、教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる資産相当額です。

奨学金等の基金として継続的に保持し、運用する預金等の資産の額です。

事業活動計算書により算出される運転資金として恒常的に保持すべき資金の額です。